



『浅野氏広島城
入城400年』

広島藩の特産「山まゆ織」の伝承

—可部地方の「山まゆ織」の歴史を学び、^{つむぎ}糸づくりと山まゆ織を体験してみよう！—

1 講演

① ヤママユの飼育(申込要、参加費無料)

可部山まゆ同好会の活動実績をもとに、ヤママユ(天蚕)の採卵から孵化、幼虫期、営繭、羽化、産卵の各過程の実践的な飼育ノウハウをお話します。

日時:令和元年9月7日(土) 13:30-15:30
場所:広島市可部公民館 広島市安佐北区可部3丁目19-22
講師:小田 貢 (可部山まゆ同好会会長)
募集:50名(先着順)
対象:どなたでも
申込:可部公民館へ電話(082-814-4031) または来館で。



② ヤママユガ科の生態(申込要、参加費無料)

地球は生物にみちあふれている。ヤママユにとってもそれはおなじことである。しかし、どうして山まゆ織りは、かつてこの可部地方で栄えたのだろうか。

地域の自然や社会の情勢は変化しても、多種多様な生物と環境を育むことによって、地域の自然の保全活動に帯同していくことが重要ではないだろうか。

日時:令和元年9月22日(日) 13:30-15:30
場所:広島市可部公民館 広島市安佐北区可部3丁目19-22
講師:石谷 正宇 氏
(IWAD 環境福祉リハビリ専門学校 副校長 博士(農学))
募集:50名(先着順)
対象:どなたでも
申込:可部公民館へ電話(082-814-4031) または来館で。



③ 山まゆ織の歴史(申込要、参加費無料)

可部地方の山まゆ織は、広島の特産品として知られ、柔らかくて、軽く、弾力性があり、武士の鎧下着にも重宝されたという。その工程と製品、販売・流通について、郷土資料館収蔵の山まゆ関連資料を通して紹介します。

日時:令和元年11月16日(土) 13:30-15:30
場所:広島市郷土資料館(展示見学含む)
広島市南区宇品御幸2丁目6-20
講師:山縣 紀子 氏 (広島市郷土資料館 学芸員)
募集:50名(先着順)
対象:どなたでも
申込:9月1日(日)から、
可部公民館へ電話(082-814-4031) または来館で。



商標・山まゆ織 ©広島市郷土資料館

2 糸づくり・織り体験(コースター)(申込要、参加費 1,000 円/回)

山まゆの出殻繭から糸を作り、その自分で紡いだ糸を緯糸として使ってコースター(約 10cmX10cm)を織ります。

日時:令和元年9月14日(土)、28日(土) 13:00-16:00
10月12日(土)、26日(土) 13:00-16:00
11月 9日(土)、23日(土・祝) 13:00-16:00
場所:可部山まゆ工房 広島市安佐北区可部東2丁目28-8
指導:可部山まゆ同好会会員
募集:各回4名(先着順)
対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
申込:可部公民館へ電話(082-814-4031) または来館で。



3 作品展示(申込不要、入場無料)

可部山まゆ同好会会員が山まゆの糸を使って織った着物、帯、ストールなどを展示します。

日時:令和元年10月5日(土) 10:00 ~ 17:00
10月6日(日) 10:00 ~ 16:00
場所:広島市可部公民館 広島市安佐北区可部3丁目19-22



問合わせ先 :可部山まゆ同好会 (<https://kabeyamamayu.webu.jp/>)

電話: 090-4577-1133 (担当 神田) e-mail: kabeyamamayu@yahoo.co.jp(事務局)

主催:可部山まゆ同好会 共催:広島市可部公民館、広島市郷土資料館 後援:広島安佐商工会